

## 全国子どもアンケート 「みんなの今を教えて」 ～子どもの権利（けんり）、知ってる?～

アンケートのテーマ：

- 子どもの権利（けんり）は、どのくらい守られている？
- どうしたらもっと、子どもの権利が知られるようになる？



このアンケートは、10～18 才までのみなさんの意見をきかせてもらうためのものです。テストではありません。  
あなたがどのようなことを答えたのかは、だれにも分からないので、安心して答えてね！

- 約 15～20 分ぐらいの時間がかかります。
- ぜんぶの質問に答えなくても、最後まで進むことができます。
- 自分が答えられる質問だけ、答えてくださいね。
- みなさんの名前や個人情報を公表することはありません。
- 質問が多いですが、好きな食べ物や飲み物を食べたり飲んだりしながら、回答しても OK！
- 分からない質問があった時は、保護者や周りの人に聞いて答えても大丈夫（だいじょうぶ）です。
- アンケートに答えていてつらかったりいやな気分になった時は、いつでもとちゅうでやめて OK です。
- また、下の窓口（まどぐち）に相談できます。

### 【相談窓口】

- 文部科学省の公式サイトにある、SMS、電話、地元の相談窓口を紹介（しょうかい）したページ  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm)

### 【このアンケートについて】

このアンケートは、日本で子どもの権利がどれくらい守られているかについて、日本に住んでいる 10 才～18 才の子どもたちの声を聞くアンケートです。日本全国から集まった 19 人の子どもたちが、11 月 20 日の「世界子どもの日」に向けて、日本の子どもたちがかかえている問題や子どもの権利の状況（じょうきょう）について子どもたちが知って学び、もっと良くするために話し合う「子どもメガホンプロジェクト（以下、メガホンプロジェクト）」の活動の一環（いっかん）で行っています。アンケートの質問は、メガホンプロジェクトの子どもとおとなが一緒に考えたものです。今回のアンケートの調査結果と、それをもとにした日本に住む子どもたちの生活をより良くする提案を、11 月にメガホンプロジェクトが行うイベントで、日本の政治家や国の機関で働く人にとどける他、国連への報告にも活用する予定です。

ぜひ、アンケートに協力してください！

★アンケートのお問い合わせはこちら

広げよう！子どもの権利条約キャンペーン実行委員団体

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 担当 山内・武田

Email : [japan.advocacy@savethechildren.org](mailto:japan.advocacy@savethechildren.org)

TEL : 03-6859-0015（平日：9 時半～18 時）



★保護者の皆さま・お子さまと一緒に本アンケートをご覧になっている皆さまへ

本調査は、広げよう！子どもの権利条約キャンペーンが実施する「子どもメガホンプロジェクト」の活動の一環として実施されるもので、目的は以下の2点です。

1. 日本政府が子どもの権利条約を守っているかについて、直接子どもの声を集め現状を把握し、その後の具体的な政策の変化につなげる
2. その結果を政策決定者（国会議員や行政職員など）や「国連子どもの権利委員会」という世界中で子どもの権利を守る活動をしている機関に届け、具体的な政策の変化につなげる

お子さまができる限り自由に回答できるよう見守ってください。ただし、子どもによっては難しい言葉が一部含まれているため、お子さまから質問があった場合は、必要に応じてサポートをお願いします。

調査結果は、「広げよう！子どもの権利条約キャンペーン」のHPで公開します。

本調査は、匿名で実施し、お子さまの個人情報を取得すること、また、個人が特定できる形で回答を公表することはありません。また、本調査では、おとなによる子どもの権利侵害を 방지、安心・安全な活動の運営を目指す、子どものセーフゲーディングを考慮して、子どもへの影響と安全に配慮した企画とデータ収集に努めています。

ご意見ご助言は、お問い合わせ先へご連絡いただけますと幸いです。

★アンケートのお問い合わせはこちら

広げよう！子どもの権利条約キャンペーン実行委員

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 担当 山内・武田

Email : [japan.advocacy@savethechildren.org](mailto:japan.advocacy@savethechildren.org)

TEL : 03-6859-0015（平日：9時半～18時）

ウェブ版アンケートはこちらのQRコードから！

（紙・ウェブどちらかの回答をお願いします）



アンケートの答え方について：

★ あてはまる選択肢の数字に○をしてね。

例： あなたの年齢（ねんれい）を教えてください。下から、1つだけ選んでください。

1. 9才以下→アンケート終了（対象外）
2. 10才
3. 11才
4. 12才
5. 13才
6. 14才
7. 15才
8. 16才
9. 17才
10. 18才
11. 19才以上→アンケート終了（対象外）

★ **（回答必須）**と書いてある質問には、できるだけ答えてください。

★ **（任意回答）**と書いてある質問は、答えなくても大丈夫です。

★ **（自由回答）**と書いてある質問は、四角の中に回答を書いてね。

例：

子どもの権利や子ども政策（せいさく）は、子どもにとって大切ですが、子どもたちにはよく知られていません。より多くの子どもたちが興味を持てるようなアイデアを教えてください。（自由記述）※子ども政策：政府が行う子どもに関する取り組みの計画や方向のこと

Tiktok など、こどもがよくつかう SNS で発信すること。

わからないことがあったら、近くのおとな・もしくは以下の連絡先まで！

広げよう！子どもの権利条約キャンペーン実行委員団体

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

担当 山内・武田 Email : [japan.advocacy@savethechildren.org](mailto:japan.advocacy@savethechildren.org)



アンケートは、全部で、5つの内容（1.子どもの権利、2.子どもの意見表明、3.学校生活、4.教育格差、5.子どもの心と体の健康）に分かれています。

ここからは、「子どもの権利」についておうかがいします。

**【質問1】（回答必須）**

あなたは、子どもの権利を知っていますか？ ※子どもの権利とは：すべての子どもたちが健やかに、自分らしく育つために必要な「当たり前のこと」です。そして、子どもたちの権利を守るための世界共通の約束ごとが、子どもの権利条約です。

1. 内容まで良く知っている
2. 内容について少し知っている
3. 名前だけ聞いたことがある
4. 聞いたことがない

**【質問2】（回答必須）**

子どもの権利を守るために、地域（ちいき）の子どもたちのために働き、なやみを聞いて問題をいっしょに解決してくれる人を「オンブズパーソン」とか「コミッショナー」といいます。あなたのまちにも、このようなおとながいたらいいと思いますか。

1. はい
2. いいえ
3. わからない

**【質問3】（任意回答）（自由回答）**

子どもの権利や子ども政策（せいさく）は、子どもにとって大切ですが、子どもたちにはよく知られていません。より多くの子どもたちが興味を持てるようなアイデアを教えてください。（自由記述）※子ども政策：政府が行う子どもに関する取り組みの計画や方向のこと



ここからは、「子どもの意見表明」について質問します。子どもの意見表明とは、子どもの権利条約の第 12 条で決められている権利で、子どもが自分にかかわることについて、自由に自分の意見を言える・聴（き）かれる権利のことです。

**【質問 5】（回答必須）**

悩み（なやみ）を相談したり、助けを求めたりする方法について質問します。自分にかかわることについて、悩みを相談したり、助けを求めたりする方法を知っていますか。

また、それを使おうと思ったこと、使ったことはありますか。

- ①相談する方法を知っていて、使ったことがある
- ②相談する方法を知っていて、使おうと思ったが実際は使わなかった
- ③相談する方法を知っているが、使おうと思ったことはない
- ④相談する方法を知らない

**【質問 6】（任意回答）（自由回答）**

悩みを相談したり、助けを求めたりする方法について質問します。自分にかかわることについて、どのような方法や相手だったら、気軽に悩みを相談できますか（例：電話、手紙、カウンセラー、家族など）

**【質問 7】（回答必須）**

議員・学校の先生など、おとなに自分の意見を伝えることについて質問します。議員・学校の先生など、おとなに何か伝えたいことはありますか。また、それをおとなに伝えたことはありますか。

1. 伝えたいことがあり、伝えたことがある
2. 伝えたいことはあるが、伝えたことはない
3. 伝えたいことはない



[質問8] (回答必須)

議員・学校の先生など、おとなに自分の意見を伝えることについて質問します。どのような方法だったら気軽に議員や学校の先生など、おとなに意見を伝えることができますか。(いくつでも回答できます)

1. 電話
2. 手紙
3. アンケート
4. LINE
5. インスタグラム
6. X (ツイッター)
7. 学校の端末 (たんまつ)
8. 直接話す
9. その他 ( )



ここからは、「学校生活」について質問します。あなたが今、感じている素直な思いを教えてください。

※学校に行っていない場合も、答えられる範囲（はんい）で協力をお願いします。

答えたくない質問は、とばしても大丈夫です。

**[質問9] (任意回答)**

学校生活で勉強以外のこまったことを、相談したい信頼（しんらい）できる人はだれですか？

**(いくつでも回答できます)**

1. いない
2. クラスの担当（たんとう）の先生
3. クラスの担当以外の先生
4. 校長先生・教頭先生
5. スクールカウンセラー
6. 保健室の先生
7. 家族
8. 友達
9. 弁護士
10. 子どものことにくわしい団体や専門家（せんもんか）
11. その他：（ )

**[質問10] (任意回答)**

学校で少しでも心配だ、安心できないと感じることはなんですか？ **(いくつでも回答できます)**

1. なし
2. 身だしなみに関する学校のルール
3. 生活に関する学校のルール
4. 学校の雰囲気（ふんいき）
5. クラスの雰囲気
6. 友達との関係
7. 先生との関係
8. 学校施設（しせつ）の環境（かんきょう）・設備
9. その他：（ )

[質問 1 1] (任意回答) (自由回答)

質問 1 0 の安心できないことが、どう変わってほしいですか？ (2 で「なし」以外の回答をした人)

[質問 1 2] (任意回答)

学校生活の中で変わってほしいところを見つけた時、学校に伝えますか？

1. 話を受け止めてもらえると思うから、伝える
2. 話を受け止めてもらえない・話をきちんと聞いてくれないと思うけど、伝える
3. どうでもいいから、伝えない
4. 別の人伝えそうだから、伝えない
5. 話を受け止めてもらえない・あしらわれると思うから、伝えない
6. 先生に面倒（めんどう）だと思われ、態度を変えられそうだから、伝えない
7. 友達や家族には言うが、学校には伝えない
8. その他： ( )

ここからは、「日本国内の教育格差」について質問します。ここでいう教育格差とは、「家庭環境や地域により、受けられる教育に差が生まれること」です。

※答えるのがむずかしい・答えたくない質問がある場合、とばしても大丈夫です。

※例えば、日本では学校だけではなく、塾や習い事などに通う子どもが多いますが、それには、お金が必要なので、家庭によっては習い事が難しいこともあります。

また、都会にいらしていると塾や習い事もたくさんありますが、大都市ではない地域だと塾や習い事なども限られます。

[質問 1 3] (任意回答)

家庭環境や住んでいる地域によって、学べる内容など教育に違い（ちがひ）があって格差を感じるがありますか？

1. よくある
2. たまにある
3. めったにない
4. まったくない
5. わからない

[質問 1 4] (任意回答)

あなたが、あなたの学校の教育で学んだことは、自分の将来（しょうらい）に活かせると思いますか？

1. とても活かせると思う  
(その理由： )
2. ある程度活かせると思う  
(その理由： )
3. 活かせるとはあまり思わない  
(その理由： )
4. 活かせるとはまったく思わない  
(その理由： )
5. わからない

[質問 1 5] (任意回答) (自由回答)

教育格差を感じた瞬間（しゅんかん）について、具体的に教えてください。また、その教育格差はどのようにすれば解決できると思いますか？

[質問 1 6] (任意回答)

今までに、学校や家庭などで心理的、身体的あるいは性的な虐待（ぎゃくたい）を受けたことで、勉強に集中できず、学ぶ意欲（いよく）がなくなってしまう経験をしたことはありましたか？ ※虐待とは：親や身近なおとなに暴力をふるわれたり、いやなことを言われたり、性的にいやなことをされたりして、心や体を傷（きず）つけられること

1. 経験がある
2. 経験がない
3. わからない
4. 答えたくない



[質問 1 9] (任意回答) (質問 1 8 で特になし) 以外の回答をした人対象)

質問 1 8 で回答した内容について質問です。その社会問題はあなたにとって身近に感じていることですか？

1. とてもそう感じる
2. だいたい感じる
3. 少し感じる
4. あまり感じない
5. わからない

[質問 2 0] (任意回答) (質問 1 8 で特になし) 以外の回答をした人対象)

質問 1 8 で回答した社会問題について、子どもの意見を聴きながら子どもとおとなが一緒になって解決していったほうがいいと思いますか。

1. とても思う
2. 思う
3. あまり思わない
4. わからない

[質問 2 1] (任意回答) (自由回答)

質問 2 0 でそのように答えた理由を教えてください。

ご協力ありがとうございました！

今回のアンケートの結果は、

「広げよう！子どもの権利条約キャンペーン」のウェブサイトで公開いたします。

ぜひ見てみてください。

★ウェブサイトはこちら⇒ <https://crc-campaignjapan.org/>